

### Ⅲ おわりに

平成26年（2014）診断分の広島県のがん登録報告書が完成いたしました。平成28（2016）年診断分からは全国がん登録がスタートしておりますので、広島県のがん登録報告書もこの平成26年（2014年）診断分と平成27年（2015年）診断分の2つのみとなりました。

さて、本報告書における5年相対生存率の記載は、平成22年（2010）集計より始めており、今回は、平成21年（2009）診断のデータです。全部位での5年相対生存率は65.8%（男性：63.5%、女性：68.6%）であり、最も高かった前立腺では98.3%、最も低かった膵臓では11.0%でした。

また、本報告書での集計においても、本県の登録精度の高さは維持されています。DCN割合は平成25年（2013）集計の4.6%と同様で、DCO割合は2.9%から2.7%へと向上しております。遡り調査の回収率の高さも反映されていることは間違いありません。本県のDCN割合、DCO割合は全国に誇る数字で、県内のがん情報を網羅的に収集できている証であり、これはひとえに日々の登録業務にあたっていただいている医療機関の皆様のご理解とご協力の賜と深謝いたします。

収集したがん登録データは、さまざまな分野で利活用され、広島県のがん対策においては、施策の立案に役立っております。

今後とも、医療機関の皆さまには、がん登録へのさらなるご理解とご協力をお願いいたします。

平成30年（2018）10月

一般社団法人広島県医師会副会長 津谷 隆史  
一般社団法人広島県医師会常任理事 山田 博康  
三宅 規之